

社会民主主義
フォーラム

全国
通信

No. 56

2024年
1月8日

〒102-0083

東京都千代田区麹町1-6-9

DIK麹町ビル704号室

TEL : 03-6272-8135

FAX : 03-6272-8136

Mail : forum-cho@iaa.itkeeper.ne.jp

2024年 政治を変える年に

政治とカネを質し まっとうな政治へ

元日の能登半島地震の発生から一週間を迎えました。7日午後2時現在で死者は128人、安否不明者は195人にも上ると報道されています。犠牲になられた皆様、被災された皆様に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。1月5日には与野党党首会談が行われ、泉代表から岸田首相に対し31項目に及ぶ申し入れが行われました。現地では当面、捜索や救援が大きな課題となっていますが、それぞれの地域において私たちも支援の取り組みを強めましょう。コロナ禍に引き続き2024年も「命と安全」が政治や社会の大きなテーマになっていることをあらためて痛感します。

さて昨年末から問題となってきた自民党派閥の裏金事件は、池田佳隆衆院議員の逮捕に至るなど、カネにまみれた自民党の体質がさらけ出されてきました。自民党の「政治刷新本部」の顧問には麻生太郎氏が起用されるなど「茶番」としか言いようがありません。こうしたカネにまみれた政治からの決別こそ2024年の政治に最も問われることです。そのためにも政権交代に向け総選挙準備に全力をあげましょう。

総選挙に勝利し 政治の流れを変えよう

代表 前参議院議員 吉田忠智



あけましておめでとうございます。

昨年行われた統一自治体選挙と衆参補欠選挙でのご支援と取り組みに感謝申し上げます。私が立候補した参議院大分選挙区補欠選挙では僅差で敗れ、大事な時に国会の現場を離れることになり、申し訳ありませんでした。

社会民主主義フォーラムが結成されて3年になりますが、会員の皆様方が立憲民主党の基盤強化と社会民主主義的な政策推進にご奮闘されていることに感謝申し上げます。

岸田政権は、平和憲法にそむく軍事大国化と防衛増税、原発回帰、憲法改悪や財政規律を無視した予算や選挙目当ての減税、そして政治資金パーティーの裏金問題等により、末期的状況にあります。野党第一党である立憲民主党にとってチャンスであり、真価が問われる局面です。

今年は、解散総選挙の可能性が高いと思われます。今度こそ同志「吉川はじめ」「山としひろ」をはじめ立憲民主党候補を勝利させ、政治の流れを変えなければなりません。

本年が会員・ご家族の皆様方にとりまして、明るい希望の持てる年になりますよう祈念申し上げます。

働く人たちの課題を政治へつなげよう

代表 世田谷区議会議員 羽田圭二



昨年暮の地域回りでは、「立憲民主党のチャンス」という声をいただきました。自民党の裏金疑惑と江東区長選における選挙違反、国会議員の事情聴取にとどまらず、遂に逮捕者まで出ました。自民党の派閥や議員間の調整機能は、元々あったのかどうかは分かりませんが、カネで政治を動かす構造は変わっていません。

昨年の出来事に西武百貨店と格安航空会社のストライキがありました。また、公的施設の給食を担う企業の撤退や児童館等の管理・運営を担うNPO団体の水増し請求が発覚しました。

自動車関連では、不正修理や不正検査などが明らかとなりました。大手建設業の施工や工期の誤りなど、企業の不正やミスが次々と露わになりました。

激しい企業間競争の下で法や秩序が背後に追いやられ、そこでいつも犠牲になるのは労働者です。今では、労働組合がストライキで対抗することは稀になっていますが、労働組合が掲げる個別課題を政治につなげていくことが益々求められています。

政治や社会にある様々な問題を今一度、それらの基盤となる経済から捉える必要性が増しています。本年もよろしくお祈りいたします。

■社会民主主義フォーラム代表代行の吉川はじめ衆議院議員、副代表の井加田まり富山県議会議員、同じく石田寛秋田県議会議員の今年への思いを聞きました。



フォーラムの役割を自覚して努力を続けよう

衆議院議員 吉川はじめ

社会民主主義フォーラムの仲間の皆さん、新年あけましておめでとうございます。政治の流れを大きく変えるため、今年も力を合わせて頑張りましょう。

さて、昨年の秋以降、岸田内閣の支持率は大きく低下しています。さらに政治資金パーティでの裏金づくりは、自民党の金権腐敗体質が依然として続いていることをさらけだしました。防衛増税、さらには少子化対策の背後で想定される負担増や社会保障の切り捨てを国民に強いながら、自らは違法な裏金づくりに没頭するような政党は政権を担う資格をもうや喪失していると言っていいでしょう。

問題は、国民の不満の受け皿として立憲民主党が機能できるかどうかという点です。率直に言って、立憲民主党の現状は、党員が自覚をもって活動できるような地方組織を確立できておらず、打ち出す政策もすべて私たちの期待通りとは言えません。

逆に言えば、だからこそ、私たち社会民主主義フォーラムの存在と役割が重要になっているとも言えます。結成から3年余りが経過しようとしています。昨年の全国交流会でも明らかになったように、各地で創意工夫した組織づくりも進められています。この歩みを止めず、お互いの経験を交流し合いながら、フォーラムの会員になってよかったと実感できるような組織にするため、努力し合ひましょう。

2024年こそ政治変革の年に！

富山県議会議員 井加田まり



1月1日15時ごろ活動報告の配布に出かけました。眩しいくらいの晴天の下、16時過ぎに体調不良を感じ躊躇しているとき、突然“ゴーツ”という地鳴りと突風に襲われました。

何事かと身構えたとたん携帯が鳴りだし地面が大きく揺れ、地震と気づいた時にはさらに激しい揺れとなり、道路も家も電柱も電線も波打つ中でなすすべもなく揺れがおさまるまでしゃがんだまま耐えていました。5日8時現在までに震度1以上の余震は800回に上ります。

次期総選挙に向けて候補者がいない富山三区では、年末に三区支部会議を開催し、自治体議員を中心に年明けからの「街宣行動」を予定していましたが、しばらくは行動延期となります。新年早々の能登半島地震で県西部の被害状況が厳しい中、立憲民主党県連では「災害対策本部」(1/2)を立ちあげ、地域の被害状況収集などLINEメールで情報共有を図っているところです。被災者の生活再建への支援はこれからです。

できるだけ早い時期に街宣活動を再開し、自民党の政治資金パーティ券疑惑がうやむやにされないようしっかりと取り組む決意です。

継続は力なり

秋田県議会議員 石田寛



明けましておめでとうございます。

私の住んでいる大館市は人口6万6千人の田舎町です。先輩が培ってきた運動を続けるため支持労組と「車の両輪」でなければと、全員社民フォーラムへの結集を決めました。

現在まで続けてきた活動ですが、1月はマリ共和国支援米発送式(市役所前)、2月に地区平和労組会議と合同旗開き、4月が鮭の稚魚放流式(子どもなど100人参加)、5月はマリ共和国支援米田植え(園児や高校生ら100人参加)、6月は30日に花岡事件関係中国人殉難者慰霊行動、7月は長木川フェスティバル(食・みどり・水を守る労農市民会議など)、10月はマリ共和国支援米稲刈り、12月は戦争に扉を開いた12・8を考える集い、そして社民フォーラム会員交流会などです。

大規模災害時は早めに大型店前で被災者支援街頭募金活動を行うことにしています。今年も元旦から能登半島地震が発生し1月11日に大型店前で募金を呼びかけます。

活動に参加できない仲間のために毎月通信を発行します。年頭の新たな決意はこれまでの活動を絶やさず継続することです。